

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパⅡ・准教授
氏名 Name	石黒 暢
専門分野 Academic Field	社会福祉学、社会政策論

主たる研究テーマ Principal Research Subject	北欧と日本の高齢者介護に関する実証的研究
<p>研究代表者をつとめる科研採択課題「福祉ガバナンスと介護労働の変容に関する国際比較研究」(基盤(B))では、日本や欧州における高齢者介護ガバナンスの変容について分析し、それが介護労働にどのようなインパクトを与えているかについて研究を進めた。成果の一部は、以下の国際学会において2件の研究報告を行った。</p> <p>– “Can technology contribute to good care? Introducing technology into Japanese elderly care”, The 3rd Transforming Care Conference: Innovation and Sustainability, Polytechnic in Milan (Italy), June 26-28, 2017.</p> <p>– “Successful Introduction of Welfare Technology in Elderly Care?: A Perspective on Governance”, The 14th EASP Annual Conference: East Asian Social Policy in a Changing Environment: Comparisons, Visions and Futures, Nagoya University (Japan), August 2-3, 2017.</p> <p>同科研課題においてはさらに、デンマークの研究協力者を招聘し、関連テーマの講演を実施するとともに、共同研究の議論を行った。1件目は、Peter Abrahamson 准教授(コペンハーゲン大学社会学部)の招聘であり、2017年8月4日には同教授による講演会「北欧福祉レジームの最新動向と課題－高齢者介護を例に－」(Recent Changes and Challenges to the Scandinavian Welfare Regime: The Case of Elderly Care)を大阪大学豊中キャンパスにて実施した(同講演会は日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念イベントの1つにもなっている)。2件目は、Jeppe Agger Nielsen 教授と Jon Aaen 助手(オルボー大学政治学部)の招聘であり、2018年3月5日にはNielsen 教授による講演会「デンマークの高齢者介護と医療・保健におけるデジタルイノベーション－遠隔医療の大型プログラムから学ぶ」(Digital Transformation in Danish Eldercare and Healthcare)を大阪大学箕面キャンパスで実施した。</p> <p>研究分担者をつとめる科研採択課題「ソーシャルワークの実践理論形成に関する実証的研究：事例を通じた地域・国際比較研究」(基盤(B)，研究代表者：上野谷加代子)においては、生活課題の解決を目指す国内と国外の福祉実践研究を行った。国内の実践研究については、2017年12月から2018年2月にかけて福祉用具に関する調査を実施した。大阪府内の事業所に勤める福祉用具専門相談員とケアマネージャーを対象としたインタビュー調査を行い、結果の分析を進めた。国外の実践研究としては、2017年9月にデンマークの基礎自治体と高齢者介護施設で介護ロボットに関するヒヤリング調査を行い、国内外の共同研究者とともに結果分析を進めた。来年度にさらに詳細な分析を進め、学会発表や論文の形で報告する予定である。</p> <p>また、研究成果公開促進費に採択された学術図書『市場化のなかの北欧諸国と日本の高齢者介護』(斉藤弥生・石黒 暢編)の出版に向けて編集作業を進めた。同じく研究成果公開促進費に採択された学術図書『北欧ケアの思想的基盤を掘り起こす』(浜渦辰二編)の出版に向けて、執筆分担章(第1章「在宅ケアの歴史と現在－デンマークにおける在宅ケアの歴史的展開」)の編集を進め、同書は2018年2月16日に大阪大学出版会から出版された。</p>	

昨年度にジャーナルに投稿した共著論文の編集作業を進め、同論文は 2017 年 10 月にジャーナルに掲載された (Hildegard Theobald, Marta Szebehely, Yayoi Saito & Nobu Ishiguro, “Marketisation Policies in Different Contexts: Consequences for Home-Care Workers in Germany, Japan and Sweden”, *International Journal of Social Welfare*, October 23rd, 2017)。

さらに、日本の高齢者介護における介護ロボット導入について論じた単著論文 “Care robots in Japanese Elderly care: Cultural values in focus” の編集作業を進め、同論文を収録した研究書 *The Routledge Handbook of Social Care Work Around the World* (Jan. 2018, Routledge, Karen Christensen and Doria Pilling (eds.)) が 2018 年 1 月に出版された。